

青森県五戸町クリニック

(2019年3月9日)

今回のクリニックは、#7中村選手の地元である青森県五戸町に、#7中村選手、#23阿部選手、#34尾崎選手3名でお邪魔しました。阿部選手も東北出身(岩手県)の選手です。

午前中は、五戸町地区小学生男女80名と過去最多の参加人数となり、午後からは中学生を対象にクリニックが行われました。

クリニックの内容は、1on1の技術向上の要望があり、例年よりもレベルアップしたクリニックとなりました。

五戸町でのクリニックは、今回で5回目の開催となります。地域の小中学生・保護者の方々にとって、実業団レベルのプレーを見る機会も少なく、バスケットボールの基本となるファンダメンタルの重要性を私達が伝える事によって、普段よりも熱心に取り組む姿勢が見られたと、各チームのコーチの方々よりお言葉を頂きました。

尾崎選手からも「誰にでも与えられる時間は平等である、それをどう生かすかによって上達具合が変わってくる」とのアドバイスがあり、自ら考えて実行できる選手が一人でも多くなれば幸いです。

最後に、五戸町バスケットボール協会、各チームのコーチ陣及びご父兄の方々のご協力があり、毎年とても良い雰囲気の中クリニックを実施する事ができます。また来年五戸町でのクリニック開催を楽しみにしております。

機会がありましたら、我々日立金属ブルドッグスの試合にも足を運んで頂き、選手1人1人の試合に掛ける思いを感じて頂ければ幸いです。

選手の皆さん、中村・阿部・尾崎選手の様な素晴らしい選手になれるよう、練習頑張ってください！！ またお会いしましょう！！

当日は、東奥日報新聞社、デーリー東北新聞社にもご協力頂きました。この場をお借りして御礼申し上げます。



7 中村選手からのメッセージ

今回で5回目となる青森県五戸町でのクリニックの開催にあたり五戸町バスケットボール協会はじめ、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。地元でのクリニックと言うこともあり私自身、毎回楽しみにさせて頂いている活動です。

今年も、これまで以上に五戸町のバスケットボール熱を感じることができた有意義なクリニックでした。小学1年生から、中学2年生までと幅広い年代の選手たちと一緒に、バスケットボールにおける基礎の重要性和楽しさを分かち合うことができ大変嬉しく思います。

国内のバスケットボール環境が急速に発展している中で、地域・年代を越えた貢献活動を今後も継続できればと思います。

23 阿部選手からのメッセージ

五戸町バスケットボール協会ならびに関係者の皆様、この度は誠に有難う御座いました。今回、同じ東北出身という繋がりもありクリニックの方に参加させて頂きました。私自身クリニックに参加させて頂くのは初めてでしたが、子ども達にはこのクリニックを通して「バスケの楽しさ」を1番に感じてほしいという強い想いを持って臨ませて頂きました。プレーしている中で子ども達の楽しそうな姿を見ることができ、非常にやりがいを感じたのと同時に、真剣に学ぼうとする姿勢も垣間見え、教わったことを意識してプレーしようと果敢に挑戦する姿には感銘を受けました。

今回クリニックに参加させて頂き、五戸町全体のバスケに対する想いを感じることができました。私も微力ながら今後もこういった機会があればぜひ参加させて頂き、子ども達にバスケの魅力や私の学んできたことを少しでもお伝えしていければと思います。

34 尾崎選手からのメッセージ

まず初めに、五戸町バスケットボール関係者の皆様に感謝申し上げます。地元青森県でのクリニックということで毎年楽しく参加させて頂いてます。

開会式では、失敗することも含めて楽しむこと、チャレンジすることをお願いしましたが、子供たちはみんなそれを実行してくれました。5対5の中で1on1を仕掛けてきたり、積極的に外のシュートを狙ったり、思わず感心してしまうようなプレーも数多く出ました。

また、地元指導者の方々にもお手伝いをして頂きスムーズな進行が出来ました。クリニック後にお話もたくさん聴かせて頂きましたが、バスケで地元を盛り上げたい、自チームだけでなく地域全体でレベルアップしていきたいという熱い情熱を感じました。

クリニックに行くことは、教えるよりも教えられることの方が多いと思います。今後もこのような活動を続け、子供たちの成長や自分自身の成長にも繋げていけたらと思います。



五戸町地区小学生の皆さん



五戸町地区中学生の皆さん



クリニックの様子



Copyright© 1997-2019 Hitachi Metals, Ltd. All Rights Reserved.